

日本災害時公衆衛生歯科研究会
2024年度第1回研修会

Special Lecture

R6年能登半島地震
福岡JRAT現地支援活動について
～一般社団法人 福岡県言語聴覚士会からの報告～

清武睦代（福岡県言語聴覚士会）

2024年5月26日（日）11:30～12:00
ふれあい貸し会議室 博多No96 -
福岡市博多区 博多駅中央街 5-12 博多東ビル
JR博多駅 東5出口徒歩15秒，筑紫口徒歩1分

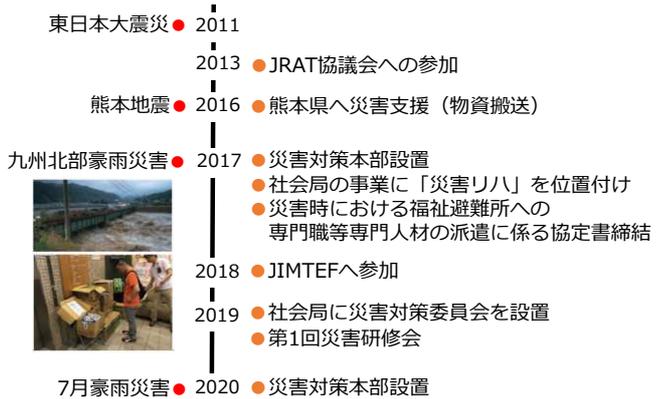
R6年能登半島地震
福岡JRAT現地支援活動
について

～一般社団法人 福岡県言語聴覚士会からの報告～

清武 睦代



福岡県言語聴覚士会の災害対策への
取り組み



大内田会長 作成

福岡県言語聴覚士会の災害対策への
取り組み



- 2021 ● 第2回災害研修会
● 災害支援物資の準備
- 2022 ● 福岡JRAT組織化（要件成立）
● 第3回災害研修会
● 災害安否確認訓練を実施
LINEオープンチャット
『福岡ST災害つながる一む』
- JIMTEF・DMOC・DWAT参加



7月 田主丸地区
豪雨災害 ●

- 2023 ● 災害対策本部設置・支援物資搬送
● 第53回北九州リハビリテーション医学会研修会
「福岡JRATの組織化に向けて」
- 2024 ● 福岡JRAT内で派遣調整
● 第1回三士会合同「災害リハビリ研修会」

大内田会長 作成

福岡JRATについて

福岡災害リハビリテーション推進協議会

社会局古賀 作成

組織概要		経営陣	D-スタッフ ^{※2}		L-スタッフ ^{※3}		
設立	2022/6	代表	佐伯 寛	Dr	2名	Dr	0名
構成団体	4つ ^{※1}	事務局	竹中 祐二	PT	11名	PT	6名
			赤津 嘉樹	OT	8名	OT	0名
		副代表	西浦 健蔵	ST	4名	ST	1名
			大内田 博文	計	27名	計	7名

※1
(公社) 福岡県理学療法士会
(公社) 福岡県作業療法協会
(一社) 福岡県言語聴覚士会
(公社) 日本義肢装具士協会
南日本支部

※2
D-スタッフ：避難所などで支援
活動を行う

※3
L-スタッフ：本部活動及びその
支援を行う



福岡JRAT

社会局古賀 作成

派遣構造



ロジスティック業務活動について

大内田会長 作成

石川県庁での活動内容(3/18-19)

- JRAT会議参加 (毎朝開催)
構成員：JRAT役員・東京本部・石川JRAT・石川本部・石川県庁本部
前日の活動と当日の活動計画を共有、活動方針を検討
- JMAT会議参加 (毎夕開催)
1日の活動状況、明日の活動計画の共有
- 保健医療福祉調整本部会議参加 (週1回開催)
石川県 関連部署、厚労省、DMAT、JMAT、DPAT、DOHAT等が参加
被災・復興状況の共有、今後の活動計画を共有
- 他団体同士の立ち話に飛び入り参加

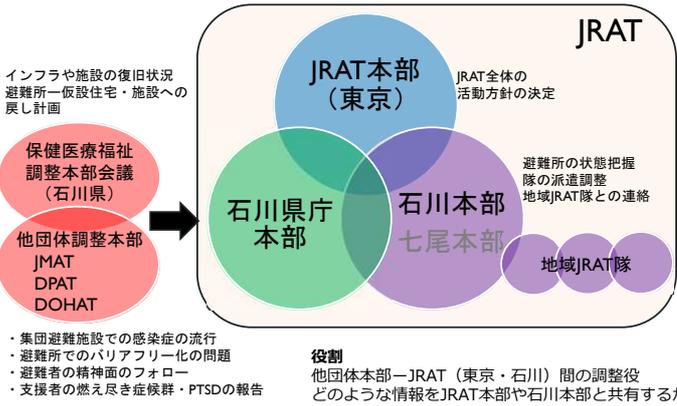
石川本部での活動内容(3/20)

- 各隊の活動報告書の整理
次の災害および費用弁済のために、詳細な報告書のチェックと管理が重要

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

県庁本部の役割

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association
大内田会長 作成



ロジスティック業務活動のまとめ

大内田会長 作成

- 様々な情報がリアルタイムに入り、他団体の活動を間近で見学
- 重要な会議に毎日参加でき、本部の重要性を実感
- 関わった様々な職種から災害時はSTが必要との発言あり

自分にしかできない仕事？
STとしての専門性？ 忙しい？

ロジは必要？役に立てたかな？

「災害支援はロジが非常に重要」
(石川JRAT副代表)

・災害支援は長期間
・業務をマニュアル化・システム化
・誰でもできるが大事

石川JRATの苦勞があったから
感じたこと
行けば誰でも何か役に立てる！

現地JRATの意向を重視し、その流れの中で一つの役割を果たしている
ロジ業務の経験は、福岡県が受援の立場になったときに活かせる

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

Dスタッフとしての活動

社会局古賀 作成

志賀町避難所支援の実際

- 3/10(日) 気温5°C/2°C ☁️ → ☀️
- 8:00~ 志賀町役場
ミーティング
保健師より情報収集
避難者基本表より情報収集
- 9:30~ 巡回
①富来活性化センター
②ますほの里
③はまなす園
④志賀町地域交流センター
- 15:40~ 志賀町役場
活動報告会議
活動報告書、避難者基本表へ記録
JRAT全体ミーティング (Web)
- 21:00~ JRAT週末報告会 (Web)



一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

Dスタッフとしての活動

社会局古賀 作成

復旧期のリハビリテーション支援～避難所生活～



- ・ 食事の量は十分。しかし、メニューが固定され栄養面では不十分。
- ・ 段ボールベッドからの転落事故多発。
- ・ 避難者の多くは高齢者で生活不活発発病リスクが高い。

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

Dスタッフとしての活動

志賀町避難所支援の実際 避難所での活動内容



一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

社会局古賀 作成

Act1 個別対応

	Case-A	Case-B	Case-C	Case-E	Case-F
年齢/性	70代/M	90代/F	70代/M	70代/M	50代/M
疾患名	多系統萎縮症	急性期脳梗塞	脳性まひ	脳梗塞後遺症	脳梗塞後遺症
問題点	#水分摂取 とろみ剤の使用状況確認	#嚥下障害 安全な摂食方法の検討	#むせ 安全な摂食方法の検討	#歩行障害 杖や歩行器の使用状況	#移動 トイレまでの動線の確認
対応	<ul style="list-style-type: none"> とろみ剤は不使用 ペットボトルからの飲水は控える ストローを使用し一口量を調整 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り車椅子座位 非麻痺側から介助 一口一嚥下 とろみ量は中間 	<ul style="list-style-type: none"> 食器の適切な配置 むせたときは一時休み、咳嗽を促す 	<ul style="list-style-type: none"> 室内は杖歩行が可能 支援終了 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子でのトイレ移動は可能 支援終了

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

志賀町避難所支援活動まとめ

社会局古賀 作成



一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

Dスタッフとしての活動

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

金沢市1、5次避難所での活動内容

【いしかわ総合スポーツセンター】

<メインアリーナ>
250のテントがあり（500人程度受け入れ）
テント内に段ボールベッドと簡易布団
テント周辺には娯楽場など
アリーナ内にはポストや新聞なども用意

<サブアリーナ>

- 施設入所者等の介護を必要とする被災者の**1.5次避難所**
- 看護師/介護士が常駐
- JRAT、JDA-DAT、薬剤師、現地ボランティア、支援物資業者

北九州副ブロック長 大藪 作成

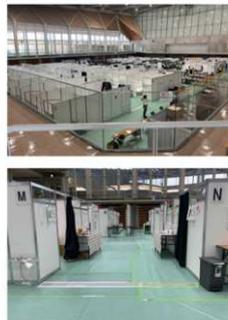
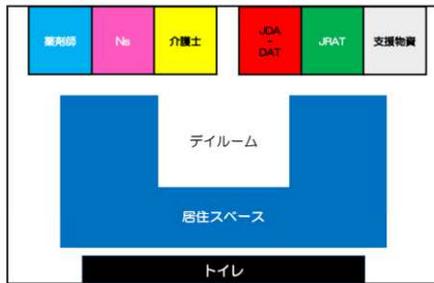
Dスタッフとしての活動

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

金沢市1、5次避難所での活動内容

【いしかわ総合スポーツセンター】

<サブアリーナ>



北九州副ブロック長 大藪 作成

Dスタッフとしての活動

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
Fukuoka Speech-Language-Hearing Therapist Association

金沢市1、5次避難所での活動内容

【サブアリーナでの活動内容】

- 前日介入した方の状況確認
情報共有ができているか
居住スペース表記の確認
- 本日介入の方のカルテ確認/人物確認
- 他職種への声かけ

《自室の入口》
氏名・検温表・予定他職種での共有事項
JRAT介入の有無記載

《個人の席中》
部屋番号・氏名
注意事項・共有事項など養生テープに記載貼付



北九州副ブロック長 大藪 作成

Dスタッフとしての活動



金沢市1、5次避難所での活動内容

【嚥下機能評価】

- 新規入所者や他職種から
相談・依頼のあった方の嚥下評価/食事評価
(とろみなし水・市販のとろみ茶・焼き菓子で評価)
*STでなくても容易に判断できる評価
*安全かつ本人の要望にも合わせた食事調整



- 団らん中の入所者の様子観察
(ムセ等あれば、その都度声かけ、評価)
*個別対応にならないように注意



北九州副ブロック長 大藪 作成

Dスタッフとしての活動



金沢市1、5次避難所での活動内容

【ミールラウンド】

ミールラウンド対象者は別紙に記録



ミールラウンド評価票		経理事務用票	
実施日時	実施場所	実施者	実施時間
2023.10.10	金沢市1次避難所	大藪 大	10:00-12:00
実施者	実施場所	実施者	実施時間
大藪 大	金沢市1次避難所	大藪 大	10:00-12:00
実施内容	実施結果	実施内容	実施結果
嚥下機能評価	OK	食事評価	OK
食事調整	なし	その他	なし
実施者	実施場所	実施者	実施時間
大藪 大	金沢市1次避難所	大藪 大	10:00-12:00
実施内容	実施結果	実施内容	実施結果
嚥下機能評価	OK	食事評価	OK
食事調整	なし	その他	なし
実施者	実施場所	実施者	実施時間
大藪 大	金沢市1次避難所	大藪 大	10:00-12:00

北九州副ブロック長 大藪 作成

Dスタッフとしての活動



金沢市1、5次避難所での活動内容

【避難所の食事内容】

ちなみに、常食でもこんな違いが...



北九州副ブロック長 大藪 作成

金沢市1、5次避難所での活動まとめ



【今後の課題】

- 日々入れ替わる支援者との情報共有の統一
 - ・ST間での報告/評価に漏れないか、対応できているか
 - ・他職種との密な連携
 - ・変更点の円滑な浸透
- 一般市民ボランティアの方々にも分かる情報の提示
 - ・医療関係者の当たり前を押しつけない
- 業種を超えた支援(『STだから』に拘らない)
 - ・嚥下/食事に関わること全般の熟知と予測の重要性

北九州副ブロック長 大藪 作成

全体まとめ

- ・福岡JRATとしてSTだけのチームを編成し、派遣に至った。
 - ・STとしての専門性を大いに生かせる支援活動ができた。
 - ・嚥下評価のみならず、食事評価後の対策が必要。
 - ・県士会として、
 - 福岡JRATと協力の下、Dスタッフ、ロジスタッフ等の育成。
 - 福岡JRATおよび他県JRATとの情報把握、共有、対策作り。
 - 会員へ支援活動の報告や情報共有のあり方等検討、マニュアル作成?等へつなげる。
 - 平時からの他職種との協体制作り。
 - 県士会内の他部局と協力し、地域の防災活動等での啓蒙、活動等の実施。
 - 小児、難聴、コミュニケーション支援についても検討必要...
- などなど...課題は山積みですが、**一歩ずつ進化し続けます。**